

# 国見歌舞伎保存会結成20周年

国見町に古くから伝わる芸能「国見歌舞伎」を継承している「国見歌舞伎保存会」が11月17日、結成20周年を迎え記念公演を行いました。役者たちの全身全霊を注いだ熱演に、満員の観客から拍手や歓声が沸きました。



▲20周年記念公演「神霊 矢口の渡し」で熱演する国見歌舞伎保存会（国見生涯学習センターみんなかん）



▲「白浪五人男」に扮しているのは、なんと…！山本教育長、三河市長、清國市議会議長、伊美小の永井校長、三浦県議会議員



▲口上を述べる堀田一則会長

や「くにさき演劇祭」で定期公演を行っています。また、市内行事での披露はもちろん、

200年前から農村の娯楽文化として親しまれてきた国見町の伝統芸能「歌舞伎」。昭和時代は下伊美青年団や公民大で活動していたものの、高齢化や指導者不足などで幾度かの中断を繰り返してきました。伝統の灯を絶やしてはならないと、有志23人で「国見歌舞伎保存会」（当時の名称は「国見田舎歌舞伎愛好会」）が結成されました。

平成5年11月、「国見ちよるちよる祭り」で旗揚げ公演をして以来、毎年同祭



▲国民文化祭で上演（平成9年・香川県小豆島）



▲伊美小学校5年生13人も、総合学習の授業で保存会から指導を受け練習を重ねた（11月8日・伊美地区高齢者と児童の楽しいふれあい交流会）



▲指導者 益田八重子さん（87）この人の存在は欠かせない。「歌舞伎の真髄をしっかりと伝えることができるまで死なれん！」と厳しく指導する益田さんだが、終演すると満面の笑みで役者を出迎えた。

国民文化祭（平成9年・香川、16年・福岡）や愛知県芸術劇場（10年・愛知）・全国各地の歌舞伎大会（17年・島根）など全国各地の晴れ舞台で活躍し、歌舞伎ファンを増やしています。

国見歌舞伎保存会の堀田一則会長は「これからも皆様に満足していただけるような芸が披露できるように精進を重ねていく所存です。これまで以上のご支援を賜りますようお願いいたします」と話しています。

国見歌舞伎保存会ではメンバーを募集しています  
事務局長 信原英治さん 0978-82-0382